

市指定文化財<古文書>

きくちがわぜんず  
菊池川全図

指定日 昭和45年2月13日

所在地 菊池市教育委員会



この全図は安政2年(1855)、菊池川絵図方御用懸、井上英太右衛門により作られた菊池川水源の溪谷から玉名郡滑石の河口に至る全流域を、幅90cm、長さ30.6mの用紙に描いた2,000分の1の測量図である。 図面には、川幅・分流、水流を調整する<sup>がかり</sup>、魚を漁する築、堰ごとの用水面積、橋や渡船、集落・農地・道路などが細密に、しかも黒・黄・赤・青と色彩鮮やかに描かれ、石垣・崖・滝などは写実的であり、村々や手永の境界や農地の測量に立会った役人たちの記名もみえる。また灌漑用水や船着場の規模や構造について数多の考証を残している。 菊池川の全長は「河原手永原村より坂下手永滑石村まで総間数3万8,918間」とあり、kmに直すと70.44kmとなる。現在、国土交通省工事事務所では71.1kmとしており、130年の間に河口が後退したと考えれば、この絵図面の精度は極めて高いものといえる。